

認知症高齢者を支援 阿南警察署と協定

本市と阿南警察署は、増加する認知症高齢者の支援を強化する協定を締結しました。協定は、認知症などにより徘徊する恐れのある高齢者などの支援を効率的に行うため、関係機関が連携・協力する支援体制を構築するもの。2月25日に市長公室で行われた調印式で、阿南警察署長の多田卓司さんは、「認知症で徘徊する高齢者などを早期発見・保護できるよう、最善を尽くしたい」とあいさつされました。



障がいへの理解を深めて

障がい者のアートによる取組を紹介する「アートでつくる心ゆたかな共生社会」を3月1日から15日まで、市庁舎1階多目的スペースで開催しました。アーティスト4人と障害者支援施設シーズ利用者などが協働で作上げた障がい者のアートやワークショップのようすを展示。期間中、たくさんの方にご来場いただき、「見て」「感じて」障がいに対する理解を深めていただきました。

新野高校、阿南工業高校最後の卒業証書授与式を実施

高校再編統合により閉校となる新野高校と阿南工業高校で、最後の卒業証書授与式がそれぞれの学校で行われました（新野高校は3月1日、阿南工業高校は3月2日）。統合校の阿南光高校は、県内初となる農工商が一体化した専門校として、阿南市で新たな歴史を刻みます。（写真は、新野高校卒業証書授与式のようす）



口腔管理の連携合意を締結

本市は健祥会グループと徳島県歯科医師会との間で、高齢者が口腔管理（歯科医療や口腔ケア）を継続的に受けられる体制作りのため連携することに合意し、2月14日、市長公室で締結式を行いました。県歯科医師会長の森 秀司さんは、「介護現場のニーズをつかみ、全身の健康につながる重要な口腔管理をさらに広げていきたい」とあいさつされました。

富岡西野球部 夢の舞台「甲子園」へ



第91回選抜高校野球大会（3月23日から12日間・阪神甲子園球場）に出場する富岡西高校の吉田光昭校長と野球部の小川 浩監督、佐野純也部長、坂本賢哉主将、浮橋幸太選手、末広純平選手が、2月27日に市役所へ表敬訪問に来てくれました。坂本主将は、「徳島県、そして野球のまち阿南の代表として、はつらつとしたプレーで、富西の校歌を甲子園に響かせたい」と抱負を話し、岩浅市長は「応援している市民や全国の富西卒業生のためにもがんばってほしい」と、選手たちを激励。市から富岡西高校へ甲子園出場記念プレートを贈呈しました。また、3月15日に組み合わせ抽選会が行われ、1回戦は3月26日(火)第3試合（14時開始予定）で東邦高校（愛知県）と対戦することに決まりました。いよいよ、選手は夢の舞台「甲子園」に立ちます。応援をよろしくお願いします。（写真上：表敬訪問、下左：野球寺で必勝を祈願する、下右：市役所での出発式 竹紙に書いた寄せ書きが贈られた）

（写真上：表敬訪問、下左：野球寺で必勝を祈願する、下右：市役所での出発式 竹紙に書いた寄せ書きが贈られた）



さわやかに、ピリ辛「すだち唐辛子」発売

地域おこし協力隊の渡辺敏郎さん（25歳）が、加茂谷産すだちを使った調味料「すだち唐辛子」を開発・販売し、好評を得ています。すだちのさわやかな風味がいろいろな料理に合います。150kgのすだちを収穫し、1,000個限定で生産しました。加茂谷の魅力が詰まった「すだち唐辛子」は、1個600円。市物産館、道の駅公方の郷なかかわ、かもだ岬温泉などでお求めいただけます。



活気満載！活竹祭 東京2020大会をPR

「第27回阿南市活竹祭」が2月24日に市役所で開催され、約1万人の来場者がステージイベントや模擬店での買い物を楽しみました。市役所玄関前に並んだ特産販売コーナーには、本市と交流・連携している県外6市も出店。東京都港区&白金北里通り商店会ブースは、来年開催される東京オリンピック・パラリンピックをマスコットとの記念撮影やバッジ配布などを通してPRしました。



小学生が起業体験

小学生に将来の起業への意識を育ててほしいと、「起業体験ワークショップ みんなで会社をつくって商売をしてみよう」が2月16日、17日にショッピングプラザアピカで開催され、市内の小学4～6年生13人が参加しました（阿南商工会議所主催）。子どもたちは、実際に起業した経営者から話を聞き、ビジネスを企画。LED工作品などを販売する模擬会社を設立して、商品を販売しました。

